

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	遊休荒廃農地対策	担当者	建設農林課	農政係
-------	----------	-----	-------	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／農業の振興			
関連する主な計画等				
根拠法	農業振興事業補助金交付要綱			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	営農集団、農業者、農業グループ等			
事業開始年	H21	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	農業従事者の高齢化、担い手の減少による耕作放棄地の発生を抑制し、集落全体で農地の持つ多面的機能の保全、生産環境の整備を行い適正な農業生産活動の改善を図る。耕作放棄地144ha(25年度実績)の内41haの農地の復旧を目指す。					
具体的取組	<p>○遊休荒廃農地復旧計画策定支援事業(※21年度のみ) 遊休荒廃農地に設定した農地の復旧計画の策定に要する経費 5万円以内／1営農集団(村内13営農集団)</p> <p>○遊休荒廃農地復旧支援事業 遊休荒廃農地復旧計画に基づく、農産物耕作等に要する経費 3万円以内／10a当たり</p> <p>○遊休荒廃農地復活支援事業 遊休荒廃農地復旧計画に基づく、遊休荒廃農地の抜根・刈払等を行い農地として復活に要する経費 10万円以内／10a当たり</p> <p>○耕作放棄地防止事業(担い手支援) 認定農業者に農地を貸した場合、小作料の1/2以内(限度あり)で助成</p>					
実績・効果	定年退職後の新規認定農業者又は1ターンでの新規就農者や集落のグループが本事業を活用し耕作放棄地を減少させるなど、担い手に対する農地の集積手段としても効果が上がっている。またこのことで集落や農業全体の活性化が期待できる。 ※平成21年度～27年度の7年間で15.2haの復旧実績					

歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	遊休農地復活事業補助	80				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	255	492	80	1,000	1,000
	うち一般財源	255	492	80	1,000	1,000
	うち補助金					
	うち個人負担					
	従事職員(人)	正規職員				
	臨時職員	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	遊休荒廃農地対策としての期待は高い。	B
	手段、成果は妥当か	b	村の農業振興の手段として必要。	
	対象者の設定は妥当か	b	幅広い対象者要件であり妥当である。	
	村の関与は妥当か	b	担い手育成の面からも妥当である。	
有効性	期待された効果が得られたか	制度を利用し0.3haの農地の復活が行われた。	C	
効率性	コストの削減に努めたか	c	遊休荒廃農地削減に有効。周知が必要。	C
	効率性を高める工夫はされたか	d	現在は営農集団ごとの復旧計画による取り組みとなっているが、個人申請を可能にすることにより事務が効率化できる。	
公平性	受益者負担は適切か	補助金は上限打ち切り方式。	B	
総合評価	C			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	遊休荒廃農地の防止について、各集落で話し合う環境づくり。
今後の取り組み	補助制度の周知。